

周年記念式典を開催しました

中原小学校
開校60周年

中原小学校 校長 水野 伸一郎

本校は昭和34年、ひばりが丘団地の建設に伴い、旧保谷町5番目の学校として開校しました。それから60年の年月を経て、校舎建替という大きな節目の中、昨年10月18日(金)に仮校舎において「開校60周年記念式典」を挙行了しました。式典では参列した5・6年生の言葉と歌声に対して、来賓の皆さまから多くのお誉めの言葉をいただきました。中原小学校の子どもたちの良さをお伝えすることができたと自負しております。

本校校歌の歌詞「学びの道にいそしめば、正しく強く伸びていく」は、本校の目指す教育の姿を表しています。これからも開校当時の



5・6年生による合唱「青の記念日」

先人の方々の思いや願いを踏まえ、教職員一丸となって子どもたちを育ててまいります。保護者及び地域の皆さまにおかれましては、今後も本校の教育活動にますますのご支援とご協力をお願いいたします。

本町小学校
開校40周年

本町小学校 校長 保谷 力

本校は昭和54年4月、保谷小学校と東伏見小学校を母体校とする、6年生を除く子どもたち500人14学級で、地域の方々や保護者の大きな期待を受けて旧保谷市本町に開校いたしました。本校には開校当初から、21世紀を生き抜く子どもの姿を託し、子どもたちの健やかな成長を見守り続けてきた3本の校樹があります。楠には賢さを、榲には人としての優しさを、そしてメタセコイアには逞しさを託しました。

平成13年に西東京市が誕生してからも、こうした地域の方々、教職員の思いは少しも色あせることなく40年という長い歳月の間を脈々と受け継がれております。式典当日は市長をはじめ、多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、盛大な式典を執り行うことができましたこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



「夢・未来講演会」を開催しました

夢の実現に向けてチャレンジする中学生を応援することを目的として、1月25日(土)に保谷こもればいホールにて「夢・未来講演会」を開催しました。

本講演会は、生徒自身が企画運営し、準備から本番まで主体的に進めることが特徴です。役割分担や発表準備、本番を想定したリハーサル、本番の進行や発表等、各市立中学校の代表生徒が、協力して取り組みました。

第1部では、生徒が自分の夢や、自分が考える西東京市の未来像等について発表しました。



「挨拶の大切さ」や「何事も最後まで諦めずに挑戦すること」、「コミュニケーションの重要性」など、様々な体験から学んだことについて、生徒一人ひとりが自分たちの現状を踏まえながら発表を行いました。また、生徒が自らアンケート調査等を行い、普段感じているまちの特徴について分析し、これからの西東京市の未来について自分の考えを発表しました。

第二部では音楽家の青島 広志先生から「夢の実現に向けて一音楽をとおして」と題して講演をしていただきました。

青島先生からは、中学生の時に、「このようになりたい」「これだけは困る」ということを考えてもらいたいという話をいただきました。

また、青島先生自身が中学生の時に、音楽から受けた印象を歌とピアノで演奏してくださいました。

生徒たちは真剣な眼差しで演奏に聞き入っていました。

青島先生自身も「このようになりたい」「これだけは困る」ということを考えてもらいたいという話をいただきました。



◆教育指導課 042-420-2827

第11回中学生「東京駅伝」大会が開催されました

第11回中学生「東京駅伝」大会が2月2日(日)にアミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園で行われました。

選考会で選出された中学2年生の生徒が結団式、練習会、試走会を経て出場しました。

当日、男子は42.195kmを17人で、女子は30kmを16人で、それぞれ襷をつなぎました。

選手一人ひとりが、練習の成果を十分に発揮し、市の代表にふさわしい力強い走りをしてくれました。

【男子の記録】
2時間26分16秒(第25位)
【女子の記録】
1時間57分49秒(第22位)
総合順位(25位)



女子キャプテン

田無第四中学校 岩本 母鋺さん

東京駅伝では、応援の力強さを感じました。沿道から大きな応援が聞こえた瞬間、嬉しくなって不思議と足が軽くなりました。タスキを仲間につけた時は達成感を感じました。絆を深めることができた最高の思い出です。

総監督

明保中学校校長 矢野 尊久

代表選手42名は試走会を含め全3回の練習会を行い、「ワンハート」のスローガンのもと、襷だけではなく心も繋ぎ、爽やかな走り、人々に元気を与えることができました。ご支援・ご声援ありがとうございました。

◆教育指導課 042-420-2827